

# **GreenPhoto2018 in Autumn**

12月8日(土)、首都大の敷地内にある松 木日向緑地にて、学生コーディネーター企画 「GreenPhoto2018 in Autumn(以下、グ リーンフォト)」を実施しました。

「グリーンフォト」は、松木日向緑地で首都大が誇る美しい自然を写真に収めながら、その素晴らしさを体感してもらうと同時に、緑地を歩く際にごみを拾うことによって環境保護ボランティアについて考えるきっかけをつくろうという企画です。今回は、応募のあった6名の首都大生と企画した学生コーディネーター4名に加え、学生課職員の清武さんと施設課職員の西田さんにもご参加いただきました。清武さんには、写真講座を、西田さんには、本学のエコキャンパス・グリーンキャンパスの取組についての説明をしていただきました。

### ·写真講座

当日は、まず全員で教室に集まり、自己紹介 や企画の説明を行いました。その後、実際に緑 地で写真を撮影する前に、前職で映像カメラマ ンをされていた学生課職員の清武さんによる写 真講座を行い、写真撮影の基礎を学びました。 今回のグリーンフォトでは、写真撮影時に使用 する機材をあえてスマートフォンに限定していま す。清武さんには、スマートフォンカメラの特徴や 利点を中心に話していただきました。一眼レフ等 の一般的なカメラでは、本体を両手で持ちファイ ンダーを覗いて写真を撮影しますが、スマートフォ ンカメラは、片手で持ち、その手でシャッターを切 ることができるため、大きなカメラでは撮れないよ うなアングルからでも撮影することができるそうで す。さらに、写真の管理も簡単なため、連写した 中からベストな1枚を選ぶことができるという特性 もあります。基礎的なスキルを教えていただくこと で、一人ひとりの知識や技術が向上しました。

#### ・写真撮影+ごみ拾い

今回は、12月という時期から「冬の訪れ」というテーマを設定して、写真を撮りに行きました。それぞれトングやビニール袋、そしてスマホを持ち、松木日向緑地に入ります。ひょうたん池、いもり池、国際交流会館の裏道、11号館の池を順番に通るコースを、2班に分かれて回りました。

12月上旬ということもあり、紅葉がギリギリ残っていましたが、落ち葉や枯れ葉も多くありました。

事前に清武さんに教えていただいたことを実践しながら、初めて知る首都大の自然の美しさや緑地内の不思議な彫刻等、様々なものを写真に収めていました。

緑地の奥にはほとんどごみがないものの、11号館の池付近やひょうたん池の近くといった人が多く通るところに、ごみが多くありました。今回ごみ拾いをしたことで、わずかではありますが、松木日向緑地をきれいにすることができました。

風景を写真に収めるために上を向いたり、ごみ 拾いを行うために下を向いたりしながら歩いたた めに、普段とは違った松木日向緑地の姿に気づ くことができました。

#### ·総括

撮影後は、教室に戻り、各々が撮ってきた写真を無記名で共有して、最も「冬の訪れ」を表現している写真を全員で投票し、決めました。同じテーマでも作品ごとに視点が違って興味深かったです。

最後に、今回の企画を通して気づいた良さや新たな一面を踏まえて、松木日向緑地をどのようにしていきたいかを話し合いました。「こんなにもフォトジェニックな緑地が、あまり知られていないという現状はとても勿体ないので、首都大生みんなに知ってもらいたい」、「この自然を守っていきたい」という意見が出るなど、充実した話し合いを行うことができました。

#### ~学生の声~

・「昨年度は新緑の季節に活動が行いましたが、今回は打って変わって、彩り豊かな秋の終わり。前回とはまた違った緑地を体験の中で知ることができました。また、多くの人に企画を通じて緑地への興味をもってもらえて嬉しかったです。学内インスタ映えポイントとして今後も多くの人に緑地のことを伝え、足を運んでもらえたらと思います。」

・「私は普段からボランティアプログラムを通じて 緑地には関わっていますが、グリーンフォトではい つもとはまた違った角度で緑地を見ることができ たと思います。じっくりと緑地を観察することができ、普段の活動では気付けないような細かい変 化にも気付くことができました。」

## 学生コーディネーター企画

GreenPhoto2018 in Autumn

報件

2018/12/08

参加者の作品の一部







